

『こころ JOB Books 第2版 本番さながら！公認心理師試験予想問題 厳選200』
お詫びと訂正

弊社書籍『こころ JOB Books 第2版 本番さながら！公認心理師試験予想問題 厳選200』の本文に誤りがありました。謹んでお詫びし、訂正いたします。

p.4 「問3」 解説・左段・本文9～10行目 ★

【誤】「錐体細胞の視感度最大波長(約510nm)」

【正】「桿体細胞の視感度最大波長(約510nm)」

p.37 「問36」 正答

【誤】①

【正】①と④

p.37 「問36」 解説・左段・本文13行目

【誤】①20歳以上である、

【正】①18歳以上である、

p.52 「問50」 解説・右段・本文3～4行目

【誤】睡眠効率が低下し、REM睡眠が減少するため、

【正】睡眠効率が低下し、non-REM睡眠が減少するため、

p.54 「問52」 解説・左段・本文22行目

【誤】動脈の拡張による血流増加、

【正】動脈の収縮による血流増加、

p.66 「問64」 正答

【誤】②

【正】①と②

p.66 「問64」 解説・左段・本文8～16行目

【誤】薬物療法については、PTSDの中核症状に直接効果があり、適応が認可されている薬物はない。そのため、薬物療法は、うつ病や過覚醒、不安、睡眠障害のように、PTSDの治療を阻害するような併存的な疾患を抑えるために用いられる。特に、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)が第1選択薬とされており、モノアミン酸化酵素阻害薬(MAOI)も再体験に関する効果が報告されている。

【正】薬物療法については、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)の一部において、PTSDの中核症状の軽減に効果が示されている。また、薬物療法は、うつ病や過覚醒、不安、睡眠障害のように、PTSDの治療を阻害するような疾患を抑えるためにも用いられる。モノアミン酸化酵素阻害薬(MAOI)も再体験に関する効果が報告されている。

p.90 「問86」 解説・右段・本文8～9行目

【誤】観察したい行動や対象者にあった観察法方を選ぶ必要がある。

【正】観察したい行動や対象者にあった観察方法を選ぶ必要がある。

p.143 「問138」 解説・左段・本文13～14行目

【誤】(50歳以上の者または障害基礎年金1級受給者)

【正】(50歳以上の者または障害基礎年金1級受給者を除く)

p.146 「問141」 正答

【誤】③

【正】正答なし

p.146 「問 141」 解答解説

【誤】児童相談所の職員には、所長、医師・保健師、児童福祉司、児童心理司などがあるが、児童福祉司については配置基準が定められている一方、児童心理司の配置基準は定められていない。

【正】児童相談所の職員には、所長、医師・保健師、児童福祉司、児童心理司などがある。児童福祉司ならびに児童心理司の配置基準はそれぞれ定められている。

p.146 「問 141」 解説・左段・本文 10～13 行目

【誤】児童福祉司の数については、児童福祉法施行令 74 号において定められる基準を標準として

【正】児童福祉司の数については、児童福祉法施行令第 3 条において定められる基準を標準として

p.146 「問 141」 解説・左段・本文 15～16 行目

【誤】都道府県が定めることになっているが、児童心理司についての規定はまだ定められていない。

【正】都道府県が定めることになっている。児童心理司の数は、児童福祉司 2 名につき 1 名以上配置することが規定されている（児童福祉法施行令第 1 条の 3）。

p.155 「問 150」 解説・左段・本文 21 行目

【誤】児童生徒の保護者に対しては、教育委員会が必要な援助を与えなければならない。

【正】児童生徒の保護者に対しては、市町村が必要な援助を与えなければならない。

p.155 「問 150」 関連問題の解答

【誤】①

【正】①と③

p.156 「問 151」 解説・右段・本文 12 行目

【誤】措置が求められており、学校安全計画の策定を

【正】措置が求められており、また学校は学校安全計画の策定を

p.162 「問 157」 解説・左段・本文 20 行目

【誤】主幹教諭

【正】主幹教諭

p.164 「問 159」 解説・左段・本文 7～8 行目

【誤】これまで非行少年は、罪を犯した少年である非行少年、

【正】これまで非行少年は、罪を犯した少年である犯罪少年、

p.166 「問 161」 解説・左段・本文 18 行目

【誤】特別生活指導

【正】特定生活指導

p.167 「問 162」 解説・右段・本文 16 行目

【誤】保護観察付執行猶予者については保護観察官が、

【正】保護観察付執行猶予者については検察官が、

p.167 「問 162」 解説・左段・本文 9 行目

【誤】勾留は、被害者が罪を認めていない、

【正】勾留は、被疑者が罪を認めていない、

p.193 「問 183」 過去問解説・右段・本文 20 行目

【誤】新版 K 式発達検査は生後 100 日以降から 12～13 歳頃までを

【正】新版 K 式発達検査は生後 100 日以降から成人までを

p.241 「問 150」 解説③

【誤】 ○ : 教育委員の選任について、住民票の規定などはない。

【正】 × : 住民票のない市町村で教育委員になることはできない。

p.242 「問 171」 解説②

【誤】 離婚を継続し難い事由に該当するとは言えない。

【正】 婚姻を継続し難い事由に該当するとは言えない。

以上